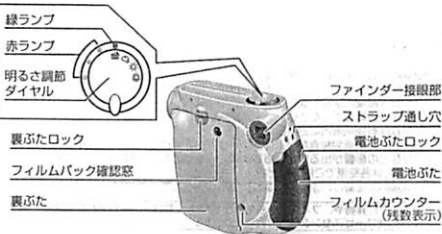
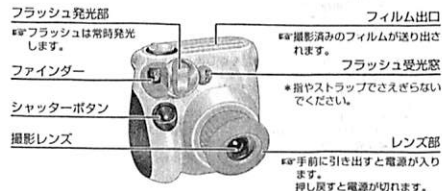


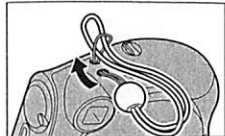
各部の説明

※：参考になる情報などの記載 ※：注意などの記載



撮影の準備

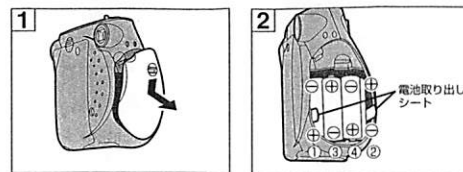
ストラップを取り付ける



ストラップ通し穴にストラップを通します。

落下防止のため、持ち運ぶ際は撮影するときはストラップに手首を通してください。

電池を入れる



電池ぶたを開けます。

- ①②の2本の電池を入れてから、③④の2本の電池を入れます。
- ※電池取り出しシートが電池の下になるようにしてください。
- ⑤電池ぶたを閉めます。

■電池の交換時期

- 赤ランプが3つ同時に点滅したとき
- 電源を入れたときに、緑ランプ、赤ランプともに点灯/点滅しないとき
- 4本とも新しい電池に交換してください。

■使用する電池 ★単3形アルカリ電池(LR6) 4本

- 必ず4本とも、新しい同じ銘柄・種類のものを使用してください。
- アルカリ電池以外は使用しないでください。
- 新しい電池で約200コマ撮影できます(当社試験条件による)。
- 寒冷地では電池の性能が低下します。電池をポケットの中などで温めてからお使いください。
- 同様の電池は、試供品です。

■電池の取り出し方

- ①上側の3本を取り出します。
- ②電池取り出しシートをゆっくり引いて、下側の1本を取り出します。

フィルムバックを入れる

電池が入っていることを確認してから、直射日光を避けて行ってください。



裏ぶたを開けます。

- 裏ぶたに無理な力を加えないでください。
- カメラの内部に触れないでください。

- ①フィルムバックの左右を持ちます。
- ②フィルムバックの黄色の線とカメラ内部の黄色の位置合わせマークを合わせます。
- ③まっすぐ落とすように入れます。裏ぶたを閉めます。
- 裏ぶたははじいきで閉めてください。途中で止めたり、完全に閉まる前に開け閉めすると、フィルムが感光する恐れがあります。

- ①レンズ部を手前に引き出します。
- ②シャッターボタンを押します。
- ③排出されたフィルムカバーを取り除きます。
- ④フィルムカウンターが“S”→“10”に変わり、撮影可能になります。
- シャッターボタンを押すと、フラッシュが発光します。

フィルムバックをセットした後は、絶対に裏ぶたを開けないでください。フィルムが感光する恐れがあります。

■使用するフィルム

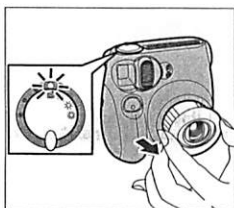
- ★フジフィルム インスタントカラーフィルム instax mini (チエキ用フィルム)
- (他のフィルムは使用できません)
- フィルムバックには1枚の取り出しフィルムカバーと10枚のフィルムが収納されています。
- フィルムバックはカメラに入れる直前に裏蓋から取り出してください。
- フィルムカバー、背面2カ所の長方形の穴は絶対に押さないでください。



撮影してみよう(屋内や暗い屋外での撮影)

1 電源ON

レンズ部を手前に引き出します。
※緑ランプが明るさ調節ダイヤルの位置で点灯していることを確認します。



- 最初の状態では明るさ調節ダイヤルのマークが緑ランプにセットされています。
- 電源を入れたまま約5分間放置すると、自動的にすべてのランプが消灯し、省電状態に入ります。次のいずれかの方法で電源ON状態に復帰できます。
- レンズ部を一度押し戻し、再度引き出す。
- シャッターボタンを押す。

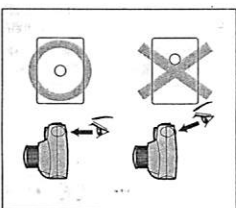


2 構える

カメラを両手でしっかり構え、ファインダーをのぞきます。



- 横位置撮影では、フラッシュ発光部が上になるように構えます。
- フィルム出口を指などでふさがないでください。
- 指やストラップなどが撮影レンズやフラッシュ発光部、フラッシュ受光窓に当たらないようにしてください。



ファインダーは、中央の○が見えるように真正面からのぞいてください。その際、指がファインダーから見えないように構えてください。

●○が中央からズレていると、見える範囲と写る範囲とズレが生じます。また、ファインダーから指が見える状態で撮影すると、フラッシュ撮影時、できあがった写真が暗くなる場合があります。

3 撮る

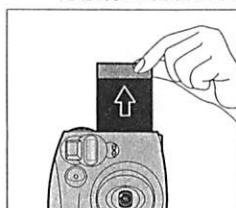
構図を決め、シャッターを切ります。
※常時、フラッシュが発光します。



- 最短撮影距離は0.6mです。
- フラッシュ光が届く範囲は、0.6m～2.7mです。
- シャッターボタンを押すときにレンズ部に触れないように注意してください。
- フラッシュ撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

4 取り出す

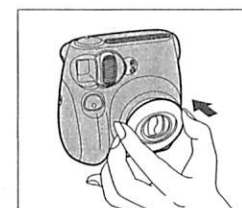
モーター音が止まってから、送り出されたフィルムの先端を持って取り出します。



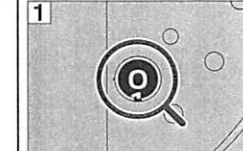
- フィルムが送り出されるときにフィルム出口を指などでふさがないでください。
- 撮影したフィルムは、その都度取り出してください。

5 電源OFF

レンズ部を押し戻します。



フィルムバックを取り出す



撮影することによってフィルムカウンターの数字が“10”から減っていき、最後の1枚を撮り終わると、“0”が表示されます。



裏ぶたを開け、フィルムバックを取り出します。

明るさ調節ダイヤルを使って撮影しよう(明るい屋外などでの撮影)

このカメラは明るいところでもフラッシュが発光します。

きれいに写すために、撮影する場所の明るさに応じて明るさ調節ダイヤルを変えてください。



- ①明るさ調節ダイヤルのお天気マークを緑ランプに合わせて。
- ②ダイヤルを合わせた後、構図を決めてシャッターを切ります。

■明るさ調節ダイヤル設定の目安

	屋内・夜間 屋内または暗い屋外(夜間)などの撮影
	曇り・日陰 雨天、曇天・日陰など、影がほとんど出ない条件での撮影
	晴れ・薄曇 晴天、または薄曇りなど、明るい条件での撮影
	快晴 快晴など、非常に明るい条件での撮影

上手な撮影のヒント

このカメラは常時、フラッシュが発光します。上手に使いこなしてきれいに写しましょう。

- 白っぽい背景・鏡やガラスなど、光を反射させるものがあるとき
少し斜めから写すなど、反射光がカメラに入らないように工夫しましょう。
- 二人以上の人物を撮影するとき
カメラからそれぞれの人物が同じ距離に並んで、均等にフラッシュ光が当たるようにしましょう。
- 逆光で撮影するとき
明るさ調節ダイヤルを☀️の方向に一段階回して撮影してみましょう。

フィルムや出来上がった写真を取り扱うときは…

- 写真の仕上がり +5°Cから+40°Cの温度でご使用いただく、よい写真が得られます。
- 気温の高い場合は、まことに注意してフィルムバックの温度を下げてください。
- 極寒に熱いところに置かないでください(熱い物やコンクリートの上、ストーブの近くなど)。
- 撮影直後の写真は温度が安定するまで直射日光を避けてください。また、写真を振る、曲げる、折る、押さえる、こするなどしないでください。

美しい写真は、「初めの30秒間の温度」が大切です。

- フィルムが暖まっている状態では、絶対に裏ぶたを開けないでください。
- フィルムが感光する恐れがあります。
- フィルムカウンターがリセットされ、正しい撮影可能枚数が表示されません。

- このフィルムの内部には、黒色の調剤性(高アルカリ性)の液が含まれています。撮影後、約10分間でアルカリ性は弱まりますが、未使用のフィルムや撮影直後の写真を取り扱うときは、次のことを守ってください。



万一、この液が皮膚や衣服などについたときは、速やかに水で充分洗ってください。また、目や口に入った場合はただちに多量の水で充分洗った後、医師の診察を受けてください。

instax mini 7S

インスタントカメラ

使用説明書・保証書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書にはフジフィルムインスタントカメラ instax mini 7S
の使い方がまとめられています。
内容をよく理解の上、正しくご使用ください。

Printed in China BB29409-100 FPT-800202-N1-01

FUJIFILM

保証書

製品名 instax mini 7S ご購入年月日 年 月 日

お名前 様 TEL

ご住所

店名印

製品保証規定

- 保証の内容
ご購入後1年以内に万が一この製品が故障したときは、この保証書を添えてご購入店または弊社修理サービスセンターにお届けください。無料で修理いたします。
なお、お届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。また、ご購入店と弊社間の運賃諸掛かりにつきましても一部ご負担いただく場合があります。
- 次の場合は保証期間内でも上記1.の保証規定は適用されません(修理可能な場合は有料で修理をお引き受けます)。
イ. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のない場合。
ロ. 保証書にご購入年月日、購入店名が記入されていない場合、または記載事項を改ざんされた場合。
ハ. 富士フィルム修理サービスセンター以外で分解、修理されたもの。
ニ. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
ホ. お取扱上の不注意(使用説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水掛かり、砂・泥の付着、カメラ内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、しょう油の入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生など)により生じた故障。
ヘ. 本体に付帯している付属品類(ストラップなど)および消耗品(電池類など)。
ト. 前記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
チ. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。
- 本製品に対する保証は前記の範囲に限られます。本製品が故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用、撮影によって得たであろう利益の損失、精神的な損害など)の補償には応じかねます。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本保証書は、前記の保証規定により無料修理をお約束するもので、これにより弊社およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
 - 本保証書の表示についてご不明な点は、右記の弊社お問い合わせ先へご相談ください。
 - 本保証書は紛失されても再発行いたしません。

主な仕様

使用フィルム	フジフィルム インスタントカラーフィルム instax mini
撮像素子	62mm×46mm
レンズ	2枚構成 f=60mm 1:1.7
ファインダー	逆ガリレオ式ファインダー 0.4倍 ターゲットマーク付き
撮影範囲	0.6m~∞
シャッター	1/60秒
露光調節	手動切り替え方式
フラッシュ	電動式 常時発光フラッシュ(自動調光) 充電時間: 0.2秒~6秒(新品電池使用時) フラッシュ撮影距離: 0.6m~2.7m 単3形アルカリ電池(LR6) 4本 撮影可能バック数: 約20/バック(当社試験条件による)
電源	5分間 フィルムカウンター 119.5mm×121.5mm×70.5mm 320g(電池、ストラップ、フィルム別)
オート(パワー)オフ	5分間
その他	フィルムカウンター
大きさ・質量	119.5mm×121.5mm×70.5mm 320g(電池、ストラップ、フィルム別)

*仕様・価格は、予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

このようなきときは...

■撮影中このようなきときは...	考えられる原因	考えられる原因
シャッターが切れない。	①電池が消耗している。 ②電池の入れ方が間違っている。 ③電源が入っていない。 ④赤ランプが順々に点滅している。 ⑤電源ONのまま何も操作しないで5分以上放置していた。	①電池を交換してください。 ②電池を正しく入れてください。 ③レンズ部を事前に引き出し、電源を入れます。 ④フラッシュ充電中です。緑ランプが点灯するまでお待ちください。 ⑤レンズ部を一度押し戻して再度引き出すか、シャッターボタンを押すと、電源ONの状態に復帰します。
フィルムが入らない、またはスムーズに入らない。	①撮影しようとしているフィルムバックがこのカメラに適合しない。 ②入れ方が正しくない。	①フジフィルム インスタントカラーフィルム instax mini を使用します(他のフィルムは使用できません)。 ②フィルムバックの黄色の線とカメラの位置合わせマーク(黄)を合わせて入れます。
赤ランプが同時に点滅している。	●電池が消耗している。	●電池を交換します。

■出来上がった写真がこのようなきときは...

このようなきときは	考えられる原因	考えられる原因
出来上がった写真が白っぽい。	①明るさ調節ダイヤルの設定が正しくない。 ②撮影時の温度が低い(+5℃以下)。 ③フラッシュ発光がふさがれていた。	①明るさ調節ダイヤルを★方向に一段階回して試してください。 ②撮影前のカメラを暖かい場所に置いてから撮影します。また、送り出された写真をポケットの中などで温めます。 ③フラッシュ受光窓をふさがないように、カメラの構え方に注意してください。
出来上がった写真が暗い。	①明るさ調節ダイヤルの設定が正しくない。 ②撮影時の温度が高い(+40℃以上)。 ③フラッシュ発光がふさがれている。 ④フラッシュの光が届かない。 ⑤白っぽい背景・鏡やガラスなどによるフラッシュ反射光の影響を受けている。	①明るさ調節ダイヤルを☆方向に一段階回して試してください。 ②カメラを涼しい場所に置いてから撮影します。また、送り出された写真を熱いものの上や近くに置かずにください。 ③フラッシュ発光窓をふさがないように、カメラの構え方に注意してください。 ④被写体から0.6m~2.7mの範囲で撮影します。 ⑤白っぽい背景・鏡やガラスに対して斜め方向から撮影します。
画面がぼんやりしている。	①撮影距離が近すぎる。 ②撮影レンズが汚れている。 ③手ブレのため。	①0.6m以上離れて撮影します。 ②弊社修理サービスセンターにご相談ください。 ③カメラをしっかり構えて、ゆっくりシャッターボタンを押します。
画面にむらがある。	①取り出してすぐ写真に圧力が掛かった。 ②写真がスムーズに送り出されなかった。	①画面を押さえずに、曲げたりしないでください。 ②フィルム出口を指などでふさがずにください。
ファインダーで覗いたものがとスレて写った。	●撮影距離が近すぎる。	●0.6m以上離れて撮影します。

■アフターサービスについて

- お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。ご購入店または富士フィルム修理サービスセンターに直接申し出てください。それ以外の責は、ご容赦いただきます。なお、保証、使用方などのご不明な点につきましては、右記の富士フィルム修理サービスセンターをご利用ください。
- 代品修理
修理内容によっては外観の異なる同等タイプカメラの部品を代用、または同等タイプカメラを代品とする場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 - 無料修理
故障した製品についてはご購入年月日、購入店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。
*詳しくは、製品保証規定をご覧ください。
 - 有料修理
保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、製品保証規定の「2.」の場合はすべて有料となります。また運賃諸掛りも、お客様にてご負担願います。
 - 修理不能
浸(冠)水、強度の衝撃、その他損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、富士フィルム修理サービスセンターにお問い合わせください。
 - 修理部品の保有期間
この製品の補修部品は、製造打ち切り後5年を目安に保有しております。

安全にご使用いただくために

- この製品および付属品は、写真撮影以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この説明書をお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告	⚠ 注意
<p>この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、人が死または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p> <p>絶対に分解しないでください。感傷の原因になります。</p> <p>落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。高圧回路があり感傷の原因になります。</p> <p>カメラ(電池)が熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、ただちに電池を取り出してください。発火ややけどの原因になります(電池を取り出す際、やけどには十分ご注意ください)。</p> <p>フラッシュを人の目に近づけて発光しないでください。一時的に視力に影響することがあります。特に乳幼児を撮影するときは気を付けてください。</p> <p>カメラを水中に落としたり、内部に水または金属や異物などが入ったときは、ただちに電池を取り出してください。発熱・発火の原因になります。</p> <p>引火性の高いガスが充満している場所や、ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近くでカメラを使用しないでください。爆発や発火・やけどの原因になります。</p> <p>カメラは乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤ってストラップを首に巻き付けると、窒息の原因になります。</p> <p>電池の分解、加熱、火中への投入、充電、ショートは絶対にしないでください。破裂の原因になります。</p> <p>指定以外の電池を使わないでください。発熱・発火の原因になります。</p> <p>電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が誤って飲み込む原因になります。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。</p>	<p>この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、人が重傷を負う可能性が想定される内容、および機器の故障の発生が想定される内容を示しています。</p> <p>⚠ 警告</p> <p>カメラをめらしたり、ぬれた手で触ったりしないでください。感傷の原因となることがあります。</p> <p>⚠ 注意</p> <p>自転車や自動車・列車などを運転している人に向けて、フラッシュ発光撮影をしないでください。交通事故などの原因となる場合があります。</p> <p>新しい電池と古い電池、違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。また、電池の⊕/⊖を誤って装着しないようご注意ください。電池の破裂、液もれにより、発火、けがや周囲を汚損する原因となる場合があります。</p> <p>⚠ 注意</p> <p>カメラの内側の可動部に触れないでください。けがの原因となる場合があります。</p>
⚠ 注意	
<p>このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU(欧州連合)の要求事項を製品が満たしていることを証明するものです。(CEとはヨーロッパ(Conformité Européenne)の略)</p>	

取扱上のお願い

- カメラの取り扱い
 1. カメラは精密機械です。水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。また、砂の溜りやすきところには置かないでください。
 2. 指先のストラップを指にかける場合は、ストラップの強度を確認の上、ご使用ください。携帯電話、PHS用ストラップは軽量機器用です。ご使用の際は特にご注意ください。
 3. 長期間お使いにならないときは、電池を取り出して、湿気、熱、ほこりの影響の少ないところに保管してください。
 4. ファインダーなどが汚れたら、プロアブラシでほこりを払い、柔らかい布で軽くふきとってください。
 5. 汚れがひどいときはシンナー、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
 6. フィルム室に汚れやほこりがあると、フィルムを傷める原因になります。特にカメラ内部の清掃は常に心がけてください。
 7. 閉め切った自動車の中や、高温の場所、湿気のある場所、海岸などに長時間放置しないでください。
 8. ナフタリンなど防虫剤のガスは、カメラにもフィルムにも有害です。たんずなどへの取除は避けてください。
 9. このカメラはマイクロコンピュータによって制御されているため、ごくまれにカメラが動作しない場合があります。このようなきときは、電池をいったん取り出し、1分間以上おいてから再度入れ直してください。
 10. このカメラの使用温度範囲は+5℃~+40℃です。
- フィルム、写真の取り扱い
 1. フィルムは、涼しい乾燥した場所に保管してください。特に閉め切った自動車の中などの高温・高湿の場所に長期間放置しないでください。
 2. カメラ入れたフィルムは、できるだけ早く撮影してください。
 3. フィルムを極端に温度の低い場所や高い場所に置いてしまった場合は、通常の温度になじんでから撮影してください。
 4. フィルムは有効期限内にお使いください。
 5. 空室の預け入れ荷物検査などで強いX線照射を受けてください。未使用のフィルムにカブリなどの影響が出る場合があります。手荷物としての機内持ち込みをすすめます(詳しくは空港までご確認ください)。
 6. 写真は強い光を避け、涼しく乾燥した場所に保存してください。

*外が入った異物や、フィルムがもれた液によってローラーが汚れた場合は、富士フィルム修理サービスセンターにご相談ください。

便利に楽しくお使いいただくために

焼き増しや引き伸ばしもできます 写したいものに近づいて大きく写せます

チェキプリント

お近くの写真店にご相談ください。

無料クロスアップレンズ 持ち出し用: ミニP (別売) をご使用ください。

FUJIFILM 富士フィルム株式会社

- 本製品のお問合せ先
富士フィルムPIサポートセンター
ナビダイヤル **0570-001-080**
⇒呼び出し音の前にNTTより通話料の目安をお知らせします。
受付時間: 月曜日~金曜日 9:00~17:40(土日祝日、年末年始、夏期休暇を除く)
- ▶ PHS・IP電話・NTT以外の固定電話などナビダイヤルをご利用いただけない場合は、042-481-1697 にお願います。
- 本製品の修理受付窓口
富士フィルム修理サービスセンター
ナビダイヤル **0570-000-081**
⇒呼び出し音の前にNTTより通話料の目安をお知らせします。
FAX **0570-060-070**
受付時間: 月曜日~金曜日 9:00~17:40/土曜日 10:00~17:00(日祝日、年末年始を除く)
- ▶ PHS・IP電話・NTT以外の固定電話などナビダイヤルをご利用いただけない場合は、0228-35-3586 にお願います。
▶ 修理品を持参または送付される場合は、下記サイトをご覧ください。
<http://fujifilm.jp/support/>
- 富士フィルム製品のお問合せ先
富士フィルム株式会社
お客様コミュニケーションセンター **03-5786-1711**
〒107-0052 東京都港区赤坂9丁目7番3号
富士フィルムホームページ: <http://fujifilm.jp/>
- 海外旅行中の故障
本製品の保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行中に故障や不具合が生じた場合は、持ち帰った後、国内の富士フィルム修理サービスセンターにお問い合わせください。